



最優秀に鈴木さん(浜松高工)

高校生から独自のアイデアを募る「高校生モノづくり・コトづくりプランコンテスト2019」(浜松市、静岡理工科大主催、静岡新聞社・静岡放送後援)の最終審査会と表彰式が22日、中区の地域情報センターで開かれた。書類審査を通過した県内外の5校から3グループ2個人がプレゼンテーションを行い、浜松工業高1年の鈴木鞠那さん(16)が最優秀賞に選ばれた。

中区でモノ・コトづくり審査

鈴木さんは、「留める・つるす・立てる」の3通りの使い方が可能な「3変形クリップ」を開発し、その実用化を提案した。審査では発想力や実現性の高さが評価された。鈴木さんは、試行錯誤を重ねて完成したのでとてもうれしい。将来的には便利な商品を開発する仕事に就きたい」と話し

「3変形クリップ」開発

た。コンテストには全国30校から計193件の応募があった。最終審査では、地域の遺跡を会場にした和菓子や、外国人旅行者の土産物となるみそやしょうゆの手作りセットの考案など多彩なアイデアが発表された。(浜松総局・佐野由香利)